

平成24年度老人保健健康増進等事業 事業概要

社会福祉法人東北福祉会 認知症介護研究・研修仙台センター

事業名	事業実施目的・事業内容
認知症における行動・心理症状(BPSD)対応モデルの構築に関する研究事業	本研究は、介護初任者を対象とする認知症介護教育の標準化を最終的な目標とし、認知症高齢者の安定的な生活を脅かす認知症にともなう行動・心理症状(BPSD)低減と解消方略の検討及びアセスメント・ケアモデルの構築を目的としている。本事業はBPSDの低減、解消に成功した事例の収集及び分析により、BPSD別の対応モデルを高齢者特性、アセスメントモデル、ケアモデルとして整理し、認知症介護教育手法の開発に資するためのBPSD対応モデルの構築を実施する。
高齢者虐待の適切な実態把握・分析・施策還元のための調査研究手法の確立・普及に関する研究事業	国及び地方自治体において、高齢者虐待に関して適切な実態把握を行い、必要十分な分析を実施し、かつその結果を施策へ反映させるための、一連の調査研究手法の確立を目的とする。地方自治体への悉皆調査により基礎資料を得た後、モデル自治体調査によって調査研究モデルの検証を行う。
災害時における在宅認知症者の避難所での具体的な支援方法のあり方に関する研究事業	本研究は災害時に緊急的に避難所等で生活しなければならない地域生活を送る認知症者ならびにその介護者の、東日本大震災時の課題を明らかにしたうえで、こうした場面における一般住民と居宅系介護サービス事業所による具体的な支援方法を検討することを目的とした研究である。 方法として、被災者支援に当たった居宅系介護サービス事業所職員により既存のマニュアル改訂ならびに新規作成を行う。その際に被災地所在の居宅系介護サービス事業所等への質問紙調査を実施し認知症ならびに介護家族への支援の実態を明らかにする。